

FMC

野菜・畑作用殺虫剤

デュバン® **フロアブル5**

powered by
RYNAXYPYR®



品質と収量の安定は、健全な苗から。

■プレバゾン®フロアブル5の適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロマトコプロールを含む農業の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類	500倍	苗地床1㎡当り2ℓ				
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類 オオタバコガ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
かぶ 非結球あぶらな科 葉菜類 (タアサイを除く)	コナガ						
タアサイ	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
あすっこ	アオムシ						1回
アマランサス (茎葉)	シロオビノメイガ						3回以内
なばな	アオムシ ハスモンヨトウ						4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
だいこん	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ ハモグリバエ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
はつかだいこん							1回
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
はなっこりー	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
					2回以内		
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類	1000～2000倍					
非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ヒメフタテンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントコグロールを含む農薬の総使用回数
トマト	ハモグリバエ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	オオタバコガ	2000倍					
ミニトマト	ハモグリバエ類 コナジラミ類	100倍	1株当り25ml	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
		200倍	1株当り50ml				
	ハモグリバエ類 オオタバコガ	100倍	1株当り25ml	収穫前日まで	3回以内	散布	
		200倍	1株当り50ml				
なす	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ネキリムシ類	100倍	1株当り25ml	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハモグリバエ類	200倍	1株当り50ml				
	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで				
2000倍							
とうがらし類	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ピーマン	ハスモンヨトウ コナジラミ類	100倍					
		100~200倍	1株当り50ml				
きゅうり	ハモグリバエ類	200倍		1株当り50ml	収穫前日まで	3回以内	散布
		1000~2000倍					
ズッキーニ	ハモグリバエ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍					
とうがん	ハスモンヨトウ		2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布
いちご							
パセリ	ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	1回
らっきょう							
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギコガ ハモグリバエ類	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類						
いんげんまめ	ハスモンヨトウ	4000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	オオタバコガ ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
だいず	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ	16~32倍	0.8ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人 ヘリコプター による散布	2回以内
	ハモグリバエ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟そらまめ	ハモグリバエ類						
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
やまのいも	ハスモンヨトウ ナガイモコガ						
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	2000~4000倍 4000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
さといも アスパラガス ほうれんそう	ハスモンヨトウ						
モロヘイヤ		ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布
バジル しそ							
えごま(葉) ふぎ	コナガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
クレソン (土耕栽培)							
ごま	オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ						
オクラ	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
しょうが	ハスモンヨトウ						
たばこ	ヨトウムシ	2000倍	100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内

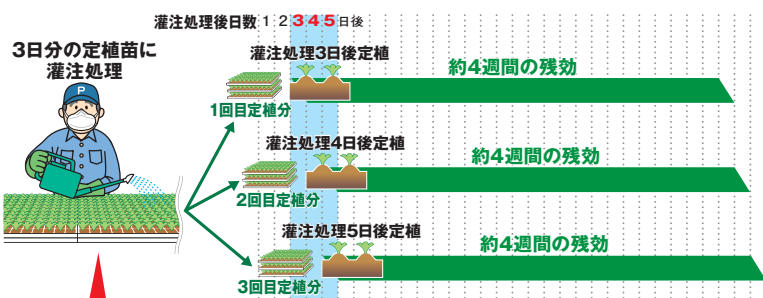
【上手な処理方法】キャベツの場合



抵抗性回避のため、系統の違う殺虫剤とのローテーション防除を徹底してください。

定植前の灌注処理で約4週間の効果

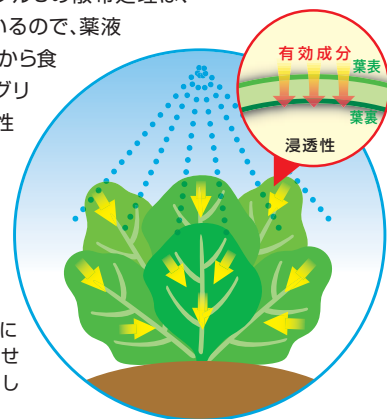
- ① 根からたっぷり吸収させる
- ② 展着剤は入れない
- ③ 定植5～3日前の処理が効果的！
- ④ 適度な水分を含んだ培土で処理



灌注作業が3日に1度で済みますので、その後の作業に余裕が生まれます。

収穫前は散布処理で約2週間の効果

プレバソン®フロアブル5の散布処理は、「浸透性」に優れているので、薬液のかかりにくい葉裏から食害する害虫や、ハモグリバエのような潜性害虫を効果的に防除します。



展着剤を入れましょう

散布処理の際は十分に薬液を作物に付着させる為に展着剤を加用してください。

△ 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

グループ	28	殺虫剤
------	----	-----

殺虫剤抵抗性管理 (IRM)

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、プレバソン®フロアブル5または他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間（播種から収穫まで）を通して適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
 (1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト (<http://www.irac-online.org>)
 (2) デュボン株式会社ウェブサイト「デュボン 抵抗性」で検索

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

販売：日産化学工業株式会社／北興化学工業株式会社／丸和バイオケミカル株式会社（五十音順）

製造：エフエムシー・ケミカルズ株式会社 〒107-0061 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館10F www.fmc-japan.com